

鉄道事業部門の黒字化の背景

私たちのこれまでの期末手当

平成	年間	夏季手当	年末手当	経常利益
25年度	2.4ヵ月	1.1ヵ月	1.3ヵ月	34億円
26年度	2.57ヵ月	1.25ヵ月	1.32ヵ月	32億円
27年度	2.84ヵ月	1.36ヵ月	1.48ヵ月	59億円
28年度	3.0ヵ月	1.5ヵ月	1.5ヵ月	88億円

しかし過去には

平成	年間	夏季手当	年末手当	経常利益
19年度	3.9ヵ月	1.9ヵ月	2.0ヵ月	12億円
20年度	3.95ヵ月	1.95ヵ月	2.0ヵ月	-36億円
21年度	3.225ヵ月	1.65ヵ月	1.575ヵ月	-46億円
22年度	3.2ヵ月	1.58ヵ月	1.62ヵ月	10億円

平成28年度悲願の鉄道事業部門の黒字化達成

私たちは要員不足の中でも協力し、鉄道事業部門黒字化を達成しました。しかし、会社は平成29年度事業計画の達成に向け、手当を過去の水準に戻そうとせずに手当抑制姿勢が明らかになりました。

何のために頑張ってきたのか？誰の為の鉄道事業の黒字化なのか？

会社は中期経営計画2021で業務創造推進プロジェクト施策を推し進め、更なる飛躍を目指しています。会社施策を末端で担うのは職場で働く私たちです。

私たちに働かせるだけ働かして我慢しろというのが今の会社経営陣の姿勢です。

皆さんこの現実を許せますか？会社に怒りの声をぶつけましょう！！